

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	15062	授業形態	
担当教員	山口 泰雄		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
備考			

ゼミ
学部ゼミ
学部
人間社会学部
学科
人間健康学科
演習名
山口泰雄ゼミナール(スポーツ・フォー・オール)

概要説明
<p>2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピック、2021ワールドマスターズゲームズ関西と続く、ゴールデン・スポーツイヤーズにおいて、スポーツの社会的・経済的・文化的価値が高まっています。また、世界的に「子どもから高齢者、障がい者を含めて、すべての人々にスポーツの機会と環境づくりを推進する」「スポーツ・フォー・オール」ムーブメントが広がっています。本ゼミでは、スポーツ・フォー・オールに焦点を当て、スポーツの価値や行動、組織を社会科学の視点から実証的に探究します。</p> <p>2回生の後期(研究演習)の活動 スポーツ分野で起こっているプログラムやイベント、情報などの社会現象の背景を探るために、新聞記事に焦点を当てたプレゼンをゼミ生が行い、ディスカッションを行います。まとめとして、学内の社会連携プロジェクトに参画し、現場のマネジメントに関する視野を広げます。</p> <p>3回生の活動 パワーポイントを活用し、スポーツイベントやスポーツクラブ・団体に関するプレゼンを行います。それらの活動と並行して、神戸マラソンランナー調査などに参画し、調査票の集計やデータ分析の基礎を学びます。</p> <p>4回生の活動 就職活動をメインにしながら、卒業研究に取り組んでもらいます。また、これまでの調査データを活用し、地域学会や国際学会において、少人数のグループによるプレゼンに挑戦します。</p>

学位
Ph.D.(学術博士：キネシオロジー)
教員よりの要望
<p>ゼミは講義と異なり、学生の興味・関心をベースにして、積極的・主体的・活動的に取り組むことが求められます。ゼミにおけるディスカッションやプレゼン、またスポーツイベントのフィールドワーク(現地調査)などにおける経験は、就職活動だけでなく、将来的な人生設計にも役立つはずです。教員によるサポートだけでなく、ゼミ生同士のサポートも学生時代の貴重な財産になるでしょう。</p>

教員英字氏名
Yasuo Yamauchi
研究室
5416室
最終学歴
カナダ・ウォータール 大学大学院博士課程修了(Ph.D.取得・キネシオロジー)
主な研究活動・社会活動・研究業績

<p>研究テーマ ・スポーツイベントの参加者研究 ・海外/国内/地域のスポーツ政策 ・スポーツによる地域活性化 ・高齢者のスポーツ・健康 ・EUにおけるスポーツの統合・インクルージョン政策</p> <p>社会活動 ・(独法)日本スポーツ振興センター 競技力向上事業助成選考委員長 ・(公財)日本スポーツクラブ協会 常務理事 ・(公財)笹川スポーツ研究助成 選考委員長 ・(公財)健康・体づくり財団 健康運動指導研究助成審査委員 ・(公財)コールドウェル・スポーツ振興会 理事 ・兵庫県/神戸市スポーツ推進審議会 会長 ・神戸商工会議所 神戸スポーツ産業懇話会 代表世話人</p> <p>主な研究業績 ・「スポーツ・ボランティアへの招待ー新しいスポーツ文化の可能性ー」(編者)、世界思想社 ・「健康・スポーツへの招待ー今日から始めるアクティブライバーー」(単著)、体育施設出版 ・「生涯スポーツとイベントの社会学ースポーツによるまちおこしー」(単著)、創文企画</p>
--

主な卒業論文のタイトル
<ul style="list-style-type: none"> ・「テニスのニュー・ミックスにおけるサポートプレイヤーの参加動機と継続意欲に関する研究」 ・「リーグクラブにおけるボランティアマネジメントに関する研究」 ・「ラグビートップリーグにおけるファンサービスと観戦意欲に関する研究：神戸製鋼ラグビー部のケーススタディ」 ・「スポーツ観戦者におけるウェブサイト利用が観戦意欲に及ぼす影響に関する研究：bjリーグのケーススタディ」 ・「クラブへのチーム・アイデンティフィケーションと地域愛着に関する研究」 ・「大山登山者の分類に関する研究：知覚価値に着目して」 ・「独立リーグ観戦者の観戦動機と類型化：四国アイランドリーグplusの観戦者に着目して」 ・「マスターズ陸上競技選手における競技継続要因に関する研究」 ・「サッカー参加が地域愛着に及ぼす影響に関する研究：するスポーツとみるスポーツに着目して」 ・「ジュニアサッカーチームの合宿地選考におけるPull要因に関する研究」 ・「オリンピック選手の競技引退後のセカンドキャリアに関する研究：セカンドキャリア決定者に影響を与えた要因に着目して」 ・「目的地の魅力が観光動機に及ぼす影響に関する研究：サイクリストに着目して」 ・「スポーツスポンサーシップへの投資における企業の意思決定プロセスに関する研究」 ・「身体障害者野球の実施における促進要因・阻害要因に関する研究：神戸コスモスに着目して」

趣味・特技
<p>趣味： スポーツ実施(テニス、スキー、ローンボウルズ)、スポーツ観戦、ピンパッチ収集、海外自然探訪、読書、コンサート。</p> <p>特技： 学生時代からテニスを継続しています。カナダ留学中は、Varsity Team(大学チーム・セレクトジョン有)のメンバー。</p>

所属
人間社会学部 人間社会学科
所属学会
International Sociology of Sport Association, European Society for Sociology of Sport, Asian Society for the Next Generation in Social Sciences of Sport (Chairperson), 日本生涯スポーツ学会(理事)、日本スポーツ社会学会(顧問)、日本体育学会(評議員)、兵庫体育・スポーツ学会(理事)

専門分野
スポーツ社会学会、生涯スポーツ論、スポーツビジネス論

選考方法
ゼミ希望者の面接、成績、履歴書などを総合的に評価し、選考します。必ず個別ガイダンスに来てください。

担当科目
スポーツビジネス論、スポーツ文化論、健康・スポーツ関連企業分析、スポーツ組織論、スポーツ施設マネジメント、人間健康学科へのいざない、専門基礎演習、研究演習

備考

評価方法
出席、レポート、プレゼンを中心にして、ゼミ活動への積極性・主体性や貢献度によって評価します。

実務経験の有無及び活用
「実務経験あり」 国際・国内・地域スポーツイベントの運営や評価、国際・国内・地域スポーツ団体のマネジメント、スポーツ政策の立案(スポーツ基本計画、兵庫県/神戸市スポーツ推進計画など)を講義とゼミ活動に活用します。